



開校明治七年
開校145年目

宗岡小だより

学校教育目標

自分がすき・友だちがすき・町がすきな宗小の子

育てる子供像 地域を愛し、誇りをもって、地域に貢献する子供

めざす学校像

「安全・安心できれいな学校」
「子供達一人一人の居場所がある学校」

7月号 令和元年7月1日

志木市立宗岡小学校

児童数452名・学級数17学級

住所 志木市中宗岡3-1-1

TEL 048-471-0307

7月の生活目標

**学校のきまりを
ふりかえろう**

・一学期のまとめをしよう

・宗小のきまりの

反省をしよう

文月 田の稲も くすのき学校の子供達も すくすくと 校長 近藤 章宏

6月上旬に梅雨入りしてから、雨の日と晴れの日が交互に訪れ、天候としてはメリハリのある毎日が続いています。降水量も確保されているため、校地内の田んぼの稲もすくすくと成長しています。それでも担当の5年生の児童達は「田んぼの水やりをするので、水道の鍵を借りに来ました。」と毎朝職員室に来てくれます。自分達の田んぼに対する責任感を感じます。



教室訪問の様子から

運動会も終わり1学期の折り返しとなった先月6月に教室訪問を行いました。教室訪問とは校長と教頭が全教員の授業を各一時間ずつ通して参観するものです。1学期の教室訪問では国語の授業を中心に参観しました。授業の中での本校の子供達の様子や取組について幾つかお伝えしてまいります。

まずどの学年の子供達も発言する意欲がとても豊富です。発言する際の声の大きさも自信にあふれており、頼もしさを感じます。

本校の国語科の指導の重点は「日常生活で活用できる言語能力を身につけさせるために様々な言語活動を工夫」することです。2年生



では音読指導の際に教科書を持ち、よい姿勢で音読させるよう声掛けをしていました。読んだ後も静かに教科書を置き、次の学習に移ります。

余計な音が無いのでとても集中できています。

3年生の「よい聞き手になろう」の授業では聞き間違いのないようにするための工夫をペアで考えさせ、教室の前で発表しています。可愛いのは女の子の服なのか、ペットの犬なのかをはっきりさせるためにはどのように言



えばよいのか、楽しそうに表現していました。

5年生の「聞いて、聞いて、聞いてみよう」の授業でも、話し手・聞き手・記録者の役割を分担して、話し手が話しやすいようにするためにはどのように聞いていけばよいのかを深めていく授業を行っていました。友達の得意なことや特徴をふまえて、「イメージ・マップ」という、聞いていく内容を構造化させる作業に取り組みせていました。



6年生の「学級討論会をしよう」という授業ではディベートの体験をしていました。学校生



活のきまりを題材に肯定・否定のグループに分かれ討論するものです。子供達は一生懸命に論理的に説明したり、質問したりすることを意識して発言していました。討論中は立場をふまえて主張し、声量も適切で、最高学年の自信に満ちた姿を見ることができました。

本校児童の実態として語彙がやや少なく、自分が知っている簡単な言葉で片付けてしまう傾向があります。今後も紹介した授業のように意図的に説明させる取組を続けてまいります。

稲の苗が並んでぐんぐんと伸びていく様子はまるで子供達がお互いに励まし合いながら伸びていく様子を連想させます。実りのために陽の光を十分に浴びようと稲が伸びるように、子供達も教師から見届けてもらいたくて手が上に伸びていくようです。宗岡小の子供達が田の稲のようにすくすくと伸びていけるよう、よりよい授業づくりを進める中で多くの言葉掛けをして、子供達一人一人が活躍できる学校を目指してまいります。保護者・地域の皆様方も本校の子供達、そして時には教職員にも声を掛けていただければ幸いです。